

総合工学委員会科学的知見の創出に資する可視化分科会
細胞-身体可塑基盤からの自分を知り育てる科学知見創出に資する可視化小委員会
(第25期・第7回)

議事次第

1. 日時 令和5年9月5日(火) 10:00~17:00
2. 会場 日本学術会議会議室、オンライン

3. 議題

- (1) 前回議事要旨の承認について
- (2) 話題提供

★1 趣旨:

- ① 人間は細胞というミクロな側面と身体のマクロな側面があり、それらを可視化することにより、相互間によこたわる真理の理解が深まると考え、そのための可視化について議論してきた。
- ② 25期のまとめとして、多様な専門分野の研究者からなる「細胞-身体可塑基盤からの自分を知り育てる科学知見創出に資する可視化」小委員会で検討してきた代表的なテーマについて議論する。
- ③ 更に、生命と環境の適合性を本小委員会の方向性の一つとして展望しており、生命科学分野における可視化の在り方と可能性について議論する。

★2 話題提供者とテーマ(敬称略)

- ① 松尾泰樹(内閣府 科学技術・イノベーション推進事務局 事務局長)
- ② 岩城光宏委員((国立研究開発法人情報通信研究機構未来 ICT 研神戸フロンティア研究センター 主任研究員)): 筋肉の可視化から紐解く生命の自律運動と制御の分子基盤
- ③ 跡見友章委員(杏林大学保健学部理学療法学科教授): 直立二足歩行の身体が生み出す創発性~可視化による直立二足歩行と体幹の冗長性の解明
- ④ 竹森 重委員(東京慈恵医科大学医学部教授): 自主・自発を育む科学分野創成への期待~可視化による教育の貢献
- ⑤ 上野佳奈子委員(日本学術会議連携会員、明治大学理工学部建築科専任教授): 環境不適合からみた身体感覚の可視化
- ⑥ 跡見順子委員長(日本学術会議連携会員(特任)、帝京大学先端総合研究機構寄付講座特任教授、東京農工大学工学府応用化学専攻客員教授、東京大学名誉教授): 可視化を援用し自分を科学する~「細胞」の創発性・意志と人間

★3 今後に向けた総括議論

- 小委員会メンバー
- 土井美和子(日本学術会議連携会員、国立研究開発法人情報通信研究機構監事、奈良先端科学技術大学院大学理事)

- (3) その他